社会資本総合整備計画

持続可能な集約連携都市への再構築(第2期) (第1回変更)

令 和 4 年 6 月 9 日

北海道札幌市

社会 含 本総合 整備計画 (市街地整備)	市づくりの理念と 5郊外での暮らしや
計画の成果目標 (定量的指標の定義及び算定式 アルス・シティ・サッボロ) ~離もが突顔でいさいさとすごせるまちへ〜」を都市で、第2次札幌市都市計画マスタープラン及び札幌市立地適正化計画(H28.3策定)により「S·M·I-I-Es City Supporo(スマイルズ・シティ・サッボロ)~離もが突顔でいさいさとすごせるまちへ〜」を都市で、「超高齢に社会を見耐え、地下鉄駅の周辺ではどに、居住機能と生活を支える多様な都市機能を集積することなどにより、円滑な移動や都市サービスを享受さるコンパクトな都市」や「自然と調和したゆとりのあるが利性化の高い路心・地下鉄駅」及びの周辺では、集合型の配住機能や多様な都市機能の集積、にぎわいや交流が生まれるオープンスペースの確保等を実現する再開発等を積極的に支援することにより、魅力と可能な都市空間を構築する。 本語の成果目標(定量的指標)	が外での暮らしゃ
	が外での暮らしゃ
て、「超高齢化社会を見据え、地下鉄駅の周辺などに、居住機能と生活を支える多様や都市機能を集積することなどにより、円滑水移動や衛門サービスを受守さるコンバクトな都市」や「自然と調和したゆとりのある) 利便性の高い都か・地下鉄駅間の近とでの著らしが悪化できるなど、住まいの多様に対応機とされた札幌らいカライフ・スペースの確保等を実現する再開発等を積極的に支援することにより、魅力と 可能な都市空間を構築する。 計画の成果目標(定量的指標) 住民基本台帳人口を根拠とした、対象地区周辺の居住人口の増加 対象地区の最寄り駅利用者の増加 定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現域値及び目標値 当初現版館 中間目標館 最終目標値 「(R1) (83末) 「(R2) (83末) 「(A) 1、491 3、858 【人] 1、491 3、858	が外での暮らしゃ
住民基本台帳人口を根拠とした、対象地区周辺の居住人口の増加 対象地区の最寄り駅利用者の増加 定量的指標の定義及び算定式	
大学・ 大学	
当初現況値 中間目標値 最終目標値 (R1) (R3末) (R3	
居住人口 最寄り駅利用者数 【人】 1,491 3,858 【人月】 27,660 30,000 全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 〇(A+B+C+D) 0.00%	
居住人口 最寄り駅利用者数 【人】 1,491 3,858 【人/日】 27,660 30,000 全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D) 0.00%	
最寄り駅利用者数 【人/日】 27,660 30,000 全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D) 0.00%	
全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D)	
全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D)	
全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D)	
全体事業費 合計 (A+B+C) 3,871百万円 A 3,871百万円 B 0百万円 C 0百万円 D 百万円 C/(A+B+C+D)	
(A+B+C)	
行対象事業	
、 基幹事業	
東ツ 松材 六八 古位	計 備考
番号 乗来 地域 交付 直接 事業者 安米 になる事業名 「事業的所」 「毎天 10 日本 10	元
16-001 住宅 一般 札幌市 間接 組合 北4東6周辺地区市街地再開発事業 公共施設、住宅、医療福祉等 4.1ha 札幌市 700 1.56	
16-002 住宅 一般 札幌市 間接 組合 北3東11周辺地区市街地再開発事業 住宅、商業等 2.4ha 札幌市	
16-003 住宅 一般 札幌市 間接 個人 苗穂駅北口西地区優良建築物等整備事業 住宅、商業等 1.3ha 札幌市	
	+
	+
<u>수</u> 計 3,871	+
関連社会資本整備事業	
事类 柳枝 六八 古拉	計 備考
番号 乗来 地域 交付 直接 事業者 要素となる事業名 事業では 東京では	
THE RESERVE TO THE RE	□
合計 0	

番号	事業	サンド 日本									備考				
田々	種別	種別	対象	間接	学 术1	女がこなる事末石	尹 未四谷	港湾・地区名	R2	R3	R4	R5	R6	(百万円)	
												±1			
											- 1	計		0	
番号	一体的に	実施するこ	ことにより	り期待され	る効果										備考
i															

D 社会	D 社会資本整備円滑化地籍整備事業														
番号	事業 地域 交付 直接 要素となる事業名 事業内容 市町村名 事業実施期間(年度) 全体事業 (万字形)													全体事業費	備考
田夕	種別	種別			李 未日	(事業箇所)	(面積等)	川川州和	R2	R3	R4	R5	R6	(百万円)	
合計 0															
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

		R2	R3	R4	R5	R6						
	配分額 (a)	1, 249	686									
	計画別流用 増 <u>△減額</u> (b)	0	0									
	交付額 (c=a+b)	1, 249	686									
	前年度からの繰越額 (d)	0	0									
	支払済額 (e)	1, 249	686									
	翌年度繰越額 (f)	0	0									
	うち未契約繰越額 (g)	0	0									
	不用額 (h = c+d-e-f)	0	0									
	未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%									
未契糸	D繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由											

[※] R2年度以降の各年度の決算額を記載。

